

東 北 日 日 新 聞 社

編 輯 局
營 業 局
印 刷 部

電 話 七 五 七 番

本社印刷部は活版・石版

印 刷 物 一 般 の

御注文に応じまじ奮つて御利用願ひます

豫 告

連載 色 洞 講 炊 骨 庵

▽ 投書を歓迎す

都々逸・俳句・短歌・短評

狂歌・創作・其他

◆ 原稿は返戻せず。採擇は本社之隨意

▽ 男女青年團並に公設團體の爲めに
紙面を割愛す



夕刊 東北日日新聞

本紙は毎月二十日
郵税五銭 郵費三銭
廣告料一行五銭
場所指定三銭増
發行所 石井 印刷
石井 印刷
日新新聞社 東北日

目ろんでゐると傳へられ三平署員に探知されたもので
十名の定員に對し立候補數あると
は少くとも五十名以上に達
する見込で何人が當選する
か今より興味を以つて見ら
れてゐる

郡内を荒した
大膽な小鼠
平署員に御用となる
石城郡神谷村生れ當時赤井
村字大平居住菅野正義事給

飢に泣く
盲目一家へ
新田町から
一麗しい同情の涙

公をしてゐるので毎月五圓禁酒會が創立されたため此
の給料を其のまゝ家計にあの機會に根本から一掃した
てて辛くも其の日をまつてものであると云はれてゐる
おたが不景氣風の吹きまく
るにつれ晝と云はず夜と云
はず

細々にも吹き流して歩
く笛の音に誰人も耳をかじ
てはくれなかつた處が力に
石城郡小名濱町居住同町小
重 傷
小名濱の保少年
乗りそこねて

社説
退し聲明書を發表して敢然
石城郡産馬畜産組合總會は
十八日午前十時から平町元
と既成政黨の渦巻へ社民黨